

第1回 学生・若手実務者のための

構造デザインコンペティション

記録集



審査結果



最優秀賞

No.3 青木 昂志良さん・西川 崇さん(首都大学東京)
「葦の髄から水底をのぞく」



優秀賞

No.5 楠目 晃大さん(神戸大学)
「放浪する土着建築」

No.4 菊池 昭人さん・深澤 大樹さん
(菊池昭人建築設計事務所・多田脩二構造設計事務所)
「集積パネルでできたゆるやかな海岸線の建築」



審査員賞

和田賞 No.18 川田 裕さん(工学院大学)
「水面のうつろいー表出の連続がこの地の建築になる。
更新され続ける新しい月島ー」

彦根賞 No.7 高橋 農さん・高橋 里菜さん(高橋建築構造設計室)
「Behind Birds Bridge」

大森賞 No.16 藤井 章弘さん(松田平田設計)
「UP」

小淵賞 No.19 隈 太一さん(シュツットガルト大学)
「しなる建築」

赤松賞 No.8 加藤 峻さん(東京電機大学)
「Tensegrity×津波タワー」

2次審査進出作品

No	会社名/学校名	氏名	作品名
1	早稲田大学	木戸脇 匡志	「STATICAL SHIPS 観光客の誘致≠エコロジカルか？」
2	東京アーキテクツアンドアソシエイツ 大成建設	伊原 慶 安藤 広隆	「融解する構造/風を伝える構造」
3	首都大学東京	青木 昂志良・西川 崇	「葦の髄から水底をのぞく」
4	菊池昭人建築設計事務所 多田脩二構造設計事務所	菊池 昭人 深澤 大樹	「集積パネルでできたゆるやかな海岸線の建築」
5	神戸大学	楠目 晃大	「放浪する土着建築」
6	名古屋市立大学	山村 祐美子・人見 真由 岡野 正暉・石原 大揮	「海を歩く、島を眺める。」
7	高橋建築構造設計室	高橋 農・高橋 里菜	「Behind Birds Bridge」
8	東京電機大学	加藤 峻	「Tensegrity×津波タワー」
9	創造社/三井ホームデザイン研究所	清水 竜太・日隈 大輔	「Open Side Terrace」
10	東京理科大学	高橋 祐三・河田 あかね 井黒 彬・榎井 孝暢	「over H」
11	鹿児島大学	里中 拓矢・横須賀 洋平	「ズレゴリズムーズレテ積まれる消波ブロックによる構造体ー」
12	東北大学/大阪市立大学	西森 裕人・山口 洋平・辻 孝輔 山口 貴之・塩原 裕樹	「そよぐ水平線」
13	大阪市立大学	加藤 潤一・奥山 仁嗣 松井 知也・吉田 力	「風を束ねる、人が集う」
14	日本大学	青木 秀史・畔柳 昭雄	「海浜の新たな活用方法の提案【海浜×竹】 bamboo pergolaによる<ふれあいの場>の創造」
15	安井建築設計事務所	松原 昌幹・山崎 拓	「共棲の方舟」
16	松田平田設計	藤井 章弘	「UP」
17	NTTファシリティーズ	井口 真吾・渡辺 真司・津崎 一潤 河合 智訓・小清水 一馬	「海風のウツロイ」
18	工学院大学	川田 裕	「水面のうつろいー表出の連続がこの地の建築になる。 更新され続ける新しい月島ー」
19	シュツットガルト大学	隈 太一	「しなる建築」
20	東電設計	椎橋 亮	「海岸のポケットーフローティング構造による海岸空間の創出ー」
21	滋賀県立大学	山田 貴大・高橋 和也・後藤 優治	「湖橋立WATER DUPING EFFECT BRIDGE」





審査員賞

副賞：賞金5万円

和田賞 「水面のうつろい—表出の連続がこの地の建築になる。更新され続ける新しい月島—」



川田 裕
(工学院大学)

大森氏：作者は、実際に育った場所（月島）を敷地とし、そこで水が動くことで水上建築の周囲の景色や住まい手の視界が変わることを実感し、それを作品に反映している。水位の変化に応じて動く建築は実現が難しいが、果敢にチャレンジしている点を評価したい。

～審査員からのコメント～

和田氏：シアトルやベニスにも水上都市がありますが、日本にも車が通らないこんな街があったらいいなと思いました。小淵氏：実際に育った場所を敷地としているという作者の思い入れやストーリーを除いた場合、工学的な面や環境への理解などが少し弱い気がします。



彦根賞 「Behind Birds Bridge」



高橋 農・高橋 里菜
(高橋建築構造設計室)

海面に飛び出した「赤岩」には、3月になるとウトウの群れが60万羽という大群で飛来する。赤岩とウトウの群れを、絶壁側だけでなく、もっと様々なアングルから眺めるための提案。そのために、岸壁側から赤岩の周辺にくるりと橋を巡らせる。Behind Birds Bridge は剛接された岸壁側とフローター構造の海側に分かれており、エキスパンションジョイントでつながれている。実現可能性については疑問の声も挙がったが、彦根氏により提案のユニークさが評価された作品。



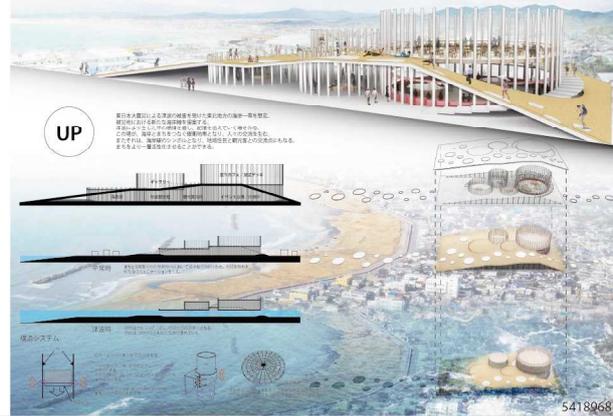
大森賞 「UP」



藤井 章弘
(松田平田設計)

～審査員からのコメント～

大森氏：私は、テーマの趣旨に沿っているかどうかにかかわって審査しました。その点で考えるとこの作品は、水位の下降や上昇に応じて生じる変化を建物のデザインに積極的に採り入れている点、海浜地区に建てることにこだわりがある点など、テーマの趣旨をとらえている点を高く評価したいと思います。



小淵賞 しなる建築

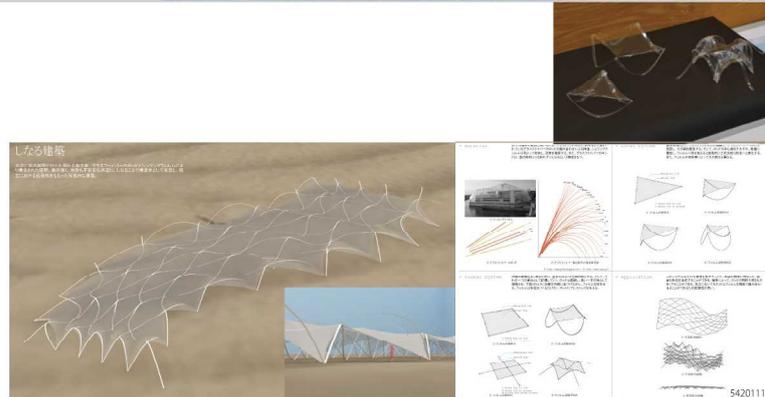


隈 太一
(シュツットガルト大学)
代理：斎藤 遼

～審査員からのコメント～

小淵氏：従来の海の家のようなイメージではなく、明るく解放的でアクティビティを誘発しそう。パーを曲げるなど構造もおもしろいと思います。

新谷氏：材料の使い方がスマートですね。

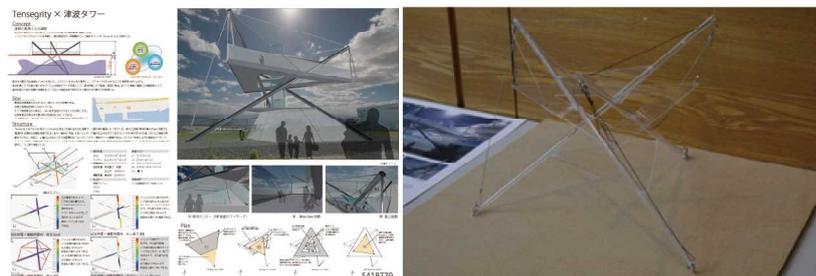


赤松賞 「Tensegrity×津波タワー」



加藤 峻
(東京電機大学)

石巻漁港から20mの場所に敷地を設定。「Tensegrity×津波タワー」は、普段は街を活性化させる複合施設として、津波が発生した際には津波タワーとして人命を救う一時避難所となる。津波が及んだ15mの位置にスラブ（2000人以上を収容可能）をTensegrity構造により象徴的につり上げる。Tensegrityとは、Tensile（張力）とintegrity（統合）を組み合わせた造語で、張力と圧縮力が主に支配し構造的に合理的な空間を実現できる。



2次審査進出作品



ズレゴリズム

ズレて積まれる消波ブロックによる構造体

Algorithm & Rules アルゴリズムと規則

Structural Principle 構造原理

Plan & Study 平面図と断面実験

Block 消波ブロック

Areas 敷地

Diagram 概観図

5418895

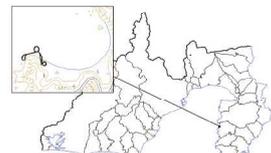
「ズレゴリズムズレて積まれる消波ブロックによる構造体」

海を歩く、島を眺める。

5418752

伊豆半島の真ん中に位置する黄金崎は火山活動による地殻変動と地熱により地層が太閤に照らされると黄金色に輝くことからその名が付けられました。碑全体が公園になっており、見晴し台、花畑などは季節問わず観光客が訪れます。

また、気候は年格差の少ない海洋性気候であり黒潮の影響が大きいためダイビングスポットとして有名です。公園内を走り巡らされた遊歩道とは別に、海から観光スポットを巡る遊歩道を提案します。



直径3mの円筒は全長約700m、海中部分が200mで勾配をつけて視線の移動を考え、視線のさぎりの少ない構造を考案しました。

回遊部は高さ3m、幅5mの橋脚になって半分はスロープ、もう半分は踏み面の大きな階段とすることで人々は回遊部での過ごし方をそれぞれ選択できます。海中での曲げモーメント発生を避けるため円筒形にその内側にトラスをさきまめに組みました。

「海を歩く、島を眺める。」

海浜の新たな活用方法の提案【海浜×竹】

Bamboo Pergolaによる<ふれあいの場>の創造

01 対象エリア 対象エリア

02 空間デザイン BAMBOO PERGOLA

03 構造システム BEAM STRING STRUCTURES

5418953

「海浜の新たな活用方法の提案【海浜×竹】 bamboo pergolaによる<ふれあいの場>の創造」

そよぐ水平線

Mechanism Roof

Diagram01

Diagram02

5418948

「そよぐ水平線」

STATICAL SHIPS

観光客の誘致≠エコロジカルか？

5418752

STRUCTURE

5418752

PROBLEM

- 水上での観光の歩道がない。
- 「白舟の影」を倒して、その影を向く。
- 水上は風を受けやすく、建物から底圧が大きい。

APPROACH

- 海浜に歩道幅を約400m狭す。
- 本島内の人々の交通の便の解決、又観光客の誘致。
- 今回提案する構造体のなかの構造、又材料、その構造で調整出来るスペースを測る。

5418752

High Wave

LDW View

5418752

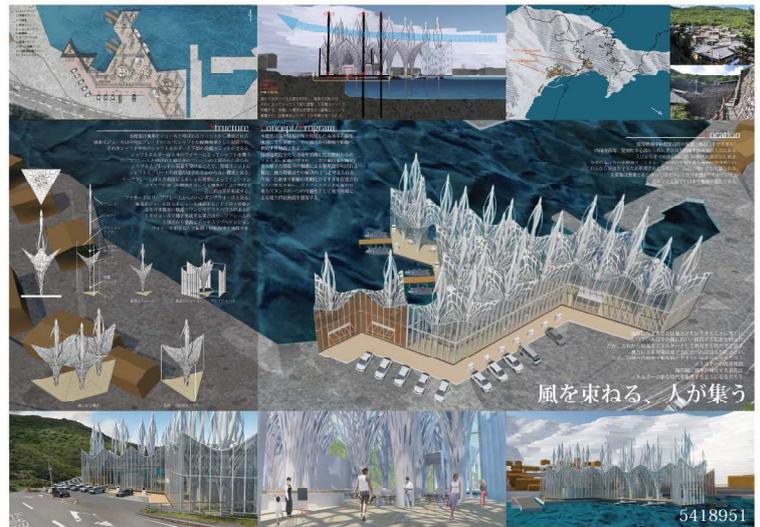
「STATICAL SHIPS 観光客の誘致≠エコロジカルか？」

2次審査進出作品



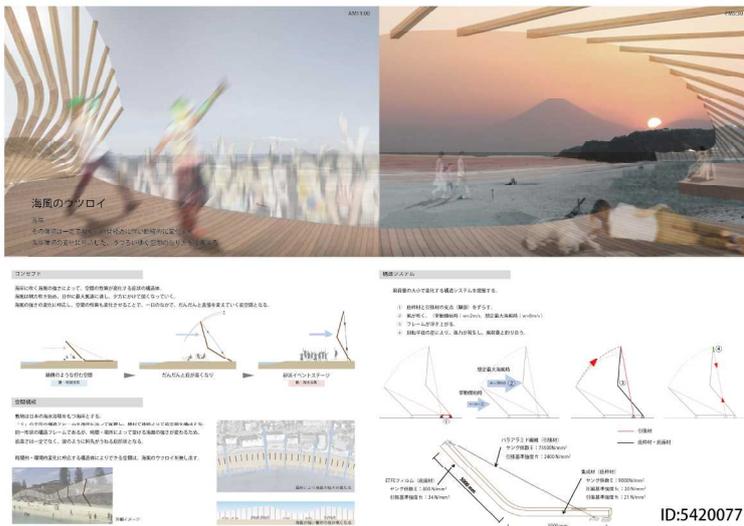
「over H」

5418836



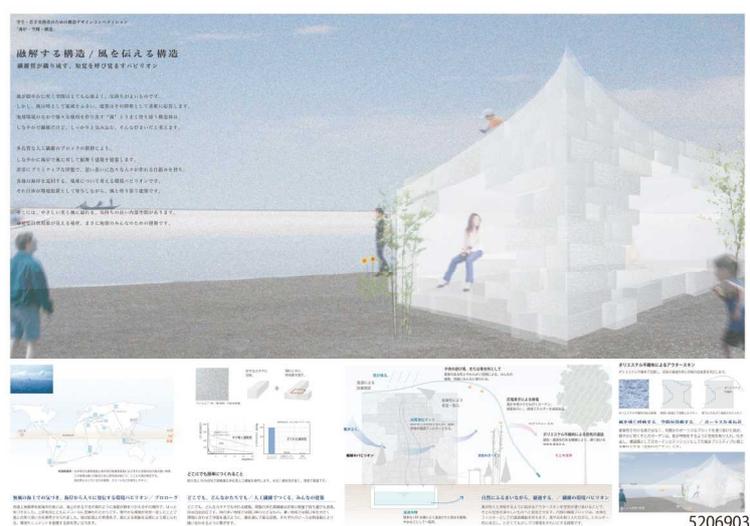
「風を束ねる、人が集う」

5418951



「海風のウツロイ」

ID:5420077



「融解する構造/風を伝える構造」

5206903



「海岸のポケットフローティング構造による海岸空間の創出」

5420120



「Open Side Terrace」

5418822

1次審査出品作品



棧橋の下のすみか ~人と鳥が共生する棧橋~

「人と鳥が共生する棧橋」のコンセプトと、その実現に向けた様々な工夫が紹介されています。また、鳥の生態や、人と鳥の共生の重要性についても詳しく説明されています。

■地域再開発の背景 ~棧橋ができた地域の歴史や文化~

■鳥の生態の背景 ~鳥の生態や、人と鳥の共生の重要性~

■鳥の産卵の場 ~鳥の産卵の場を確保するための工夫~

■鳥の産卵の場 ~鳥の産卵の場を確保するための工夫~

■鳥の産卵の場 ~鳥の産卵の場を確保するための工夫~

5420074

移動する都市 丸 新たな海沿

「移動する都市 丸 新たな海沿」のコンセプトと、その実現に向けた様々な工夫が紹介されています。また、都市の発展や、人と自然の共生についても詳しく説明されています。

■コンセプト 移動する都市 丸 新たな海沿

■移動システム (構造システム)

■移動システム (構造システム)

■移動システム (構造システム)

5420076

あいつしえる

「あいつしえる」のコンセプトと、その実現に向けた様々な工夫が紹介されています。また、環境の改善や、人と自然の共生についても詳しく説明されています。

あいつしえる

あいつしえる

あいつしえる

あいつしえる

5420098

夕日~変わらないもの~

「夕日~変わらないもの~」のコンセプトと、その実現に向けた様々な工夫が紹介されています。また、夕日の美しさや、人と自然の共生についても詳しく説明されています。

夕日~変わらないもの~

夕日~変わらないもの~

夕日~変わらないもの~

5420078

境界のドレスコード

「境界のドレスコード」のコンセプトと、その実現に向けた様々な工夫が紹介されています。また、境界の美しさや、人と自然の共生についても詳しく説明されています。

境界のドレスコード

境界のドレスコード

境界のドレスコード

5418972

波の軌跡

「波の軌跡」のコンセプトと、その実現に向けた様々な工夫が紹介されています。また、波の美しさや、人と自然の共生についても詳しく説明されています。

波の軌跡

波の軌跡

波の軌跡

5418904

Tokyo Bay Gate-Place

「Tokyo Bay Gate-Place」のコンセプトと、その実現に向けた様々な工夫が紹介されています。また、東京湾の発展や、人と自然の共生についても詳しく説明されています。

Tokyo Bay Gate-Place

Tokyo Bay Gate-Place

Tokyo Bay Gate-Place

5418818

添い海

「添い海」のコンセプトと、その実現に向けた様々な工夫が紹介されています。また、海の美しさや、人と自然の共生についても詳しく説明されています。

添い海

添い海

添い海

5418769

